

「仁徳天皇陵は どこまでわかったか」

徳田 誠志 氏（関西大学 客員教授）

1月19日（日）13:30～15:30

世界遺産百舌鳥・古市古墳群を構成する数多くの巨大前方後円墳の代表が仁徳天皇陵（大山古墳）。墳丘長は486mとされてきたが、最近の宮内庁書陵部の調査によると実際の規模はさらに大きくなり 525m以上となり、世界一の王墓である。

この一連の調査を主導し、かつて書陵部に在籍した徳田氏から貴重なお話をさせていただきます。



百舌鳥耳原中陵 三次元地形測量図
（書陵部紀要第69号〔陵墓篇〕より一部編集）

- 会場：群馬県立歴史博物館 視聴覚室
- 定員：140名
- 参加費：無料 ※展示を見学される場合は観覧券が必要です。

新春特別収蔵品展観覧料（常設展も含む）：一般 500円

常設展観覧料：一般 300円

- 申込方法：12月19日（木）より、事前申込が必要です。

○当館HP・右QRコードから入力フォームへアクセス

○電話（027-346-5522（開館日の9:30～17:00））

※申込はフォーム、電話とも講座前日の17:00までとなります。

（定員に達した場合は、早めに受付を終了することがあります。）

※状況により、内容に変更を生じる場合があります。

講座①入力フォーム



群馬県立歴史博物館

高崎市綿貫町992-1（群馬の森内）

TEL. 027(346)5522

